

## ナガツカ

親魚は60センチ！撮影の際には少し？腰が引けます



(写真・文 水中カメラマン 佐藤長明さん)

### 寒くても楽しい季節!?

新年明けたかと思うや否や、もう2月となりました。水中は1年間で最も水温の低い季節に突入です。

ダイビングをする際のスタイルも防寒対策のため重装備となります。厚着をし、カイロをポケットに忍ばせ、靴下も重ね着です。すると、浮力が増すため当然のごとく沈むための鉛玉も増やさざるをえません。なんと、総重量で30キログラムにもなります。また、気温が低いいため、船上でも足元が滑りやすく気を抜くことができません。そんな思いままでして潜るのは、この時期は生物の繁殖期真っ最中だからです。

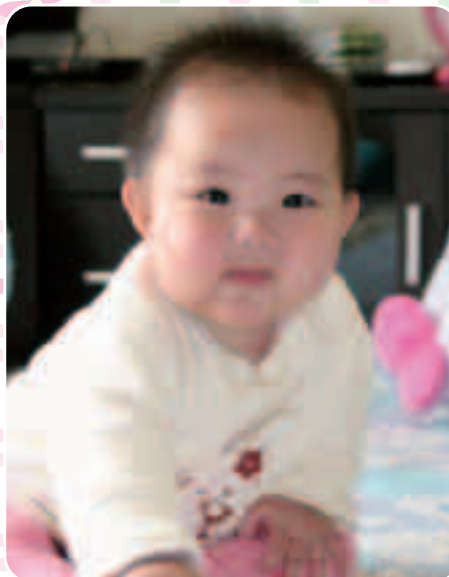
その中から、今回ご紹介するのは「ナガツカ」です。普段は、水深300メートルほどの深場で生活していますが、これからの季節になると、繁殖のため沿岸域までやってきます。写真の口をあけて威嚇しているのは雄のナガツカです。この種は、オスが卵を守りますが、卵塊の大きさはハンドボールほどもあります。釣りや底引き網でも捕獲されますが、卵巣に毒があり、食べるとひどい下痢をするので要注意です。

### 編集後記

▶お正月の食卓に、珍しくおせち料理が並んだと思ったら、子どもたちが「おいしい！おいしい！」と食べています。どれどれ…、と手前の黒豆をひとつ食べてみたら、腹はくだるし、吐き気はするし、おまけに病院に行ったら「おなかの中にサナダムシがいます。」と言われたところで、汗びっしょりになって目が覚めたのが今年の初夢でした。皆さんの初夢はどうでしたか？私の場合、とりあえず今年1年は黒豆を食べないようにしたいと思います。▶おせち料理といえば、お煮しめやお雑煮など、おふくろの味が詰まった玉手箱のようなものです。しかし、その玉手箱を私の娘や息子が伝承することはないでしょう。日本の文化が途絶えていくのは寂しいことですが、これも時代の流れです。特に最近は、アレルギー体質の子どもたちも多く、卵だめ、魚だめ、肉だめと、料理を作る方も大変ですよ。先日、鼻をほじった手でゆで卵を食べていたら、眉毛と眉毛の間に黒豆のような腫れ物が出てきてビックリ！いきなりあせっていたら、汗びっしょりで目が覚めたというのが新年2日目の夢でした。はたして今年はどうなることやら…。

担当 加藤

## わが家のアイドル



遠藤 新奈ちゃん

(◎御前下)

平成22年5月17日生まれ

パパ 貴史さん

ママ 明美さん

### おうちの方から一言

我が家に、7年ぶりに家族が増えました。「ちょ～かわいいよねえ～」と、お姉ちゃん。妹の笑顔に大満足です。

いつまでもみんなに愛され続ける新奈でいてね！姉妹仲良く♡